



日本のボッシュ・グループの被災地復興支援活動 ドイツのシュトゥットガルト室内管弦楽団 による 「オクトーバー・コンサート in 東松島」 ドイツの豊かな音楽に触れる秋のひとつ

2014 年 10 月 11 日

COM-2014-016

- ▶ 2012 年に続き 2 回目となる音楽の復興支援イベント
- ▶ 地元のコーラス部、ボッシュのコーラスチームと楽団が共演
- ▶ 東松島市「復興木工"絆"プロジェクト」で制作されたコースターをお土産として配布
- ▶ 2014 年以降も復旧復興支援は継続

東松島発: 日本のボッシュ・グループは、東日本大震災以降継続している復興支援活動の一環として、2014 年 10 月 10 日および 11 日の両日、宮城県東松島市にて管弦楽団の最高峰 ドイツのシュトゥットガルト室内管弦楽団 による「オクトーバー・コンサート in 東松島」を開催しました。

「シュトゥットガルト室内管弦楽団」とは、ボッシュ・グループが本社を置くドイツ/ シュトゥットガルトを拠点として活動する、ヨーロッパで最も長い歴史を持つ室内管弦楽団で、ドイツの Robert Bosch GmbH も活動を支援しています。2012 年 11 月、公演のため隔年で来日している同楽団に依頼し、ボッシュ・グループ初の音楽を通じた復興支援活動として、東松島市で演奏会を実施しました。その会が地元の方々から大変好評いただいたことを受け、来日の年にあたる今年、再度楽団に依頼し公演が実現しました。

演奏会は、10 月 10 日に東松島市コミュニティセンターにて、未就学児童と保護者約 40 名を対象とした「ファミリーフレンドリーコンサート」と同市民約 400 名を対象とした「オクトーバー・コンサート」を、さらに 10 月 11 日には野蒜市民センターにて同市民 100 名を対象とした「ミニコンサート&交流会」の計 3 回行いました。「オクトーバー・コンサート」と「ミニコンサート&交流会」では、地元のコーラス部と弊社のコーラスチームが楽団と共演しましたが、いずれも大好評のうちに幕を閉じました。

東松島市の阿部市長は、このコンサートの開催について弊社に対するお礼の言葉をのべるとともに、「東松島市のさらなる復興が、支援してくれているボッシュの方々への恩返しになります。力をあわせてがんばっていきましょう」と、同市の復興について強い意志を示されました。

東松島市への復興支援活動は 2014 年以降も継続

創業者ロバート・ボッシュの「社会奉仕」の精神に基づき、自主的・積極的に社会との調和を図り、さまざまな分野で社会への奉仕活動を実施しているボッシュ・グループでは、東日本大震災後、宮城県東松島市に対する復旧・復興支援活動を継続しています。

震災が発生した 2011 年には、同市内の被災した保育所など公共施設の代替として仮設コンテナハウス 14 棟(300 ユニット)や市公用車としてのクリーンディーゼル乗用車 6 台、電動工具など必要な物資を寄贈するとともに、従業員による瓦礫撤去等のボランティア活動の実施や、保育所向けのチャリティーイベントの開催(「ドイツの聖ニコラウス(サンタ)がやって来た!」)など人的な面でも支援しました。

また東松島市のみなさまが、少しでも笑顔になれるお手伝いができればと、2012 年 6 月 20 日、ドイツのサッカーチーム VfB シュトゥットガルト所属の岡崎慎司選手(現:FSV マインツ 05)と酒井高德選手のご協力で、同市内にある小野小学校全校生徒 126 人と矢本第二中学校のサッカー部員 37 人を対象にした「世界に羽ばたこう! サッカー教室 in 東松島」を、11 月には「シュトゥットガルト 室内管弦楽団 東松島市公演」を開催。翌 2013 年には、同市の小中学生および保護者約 40 人を対象に「夢に向かってアクセルを踏もう」全日本 F3 選手権シリーズ決勝観戦ツアーを実施しました。

さらにボッシュ・グループは、2013 年から同市が開始した新プロジェクト「復興木工"絆"プロジェクト」に、作業に必要となる電動工具を寄贈しました。今回のコンサートでは弊社の社員ボランティアから来場者の皆さんに、そのプロジェクトで制作されたコースターをお土産としてお渡ししました。

ボッシュ株式会社 取締役副社長のウド・ヴォルツは演奏会にお集まりいただいた東松島市民の皆様、会社を代表し「私どもボッシュ・グループは、会社そして社員一同、皆さまとの貴重な絆を今後も繋ぎ続けられますよう、引き続き微力ながら東松島市の復興のお手伝いをさせていただければと思っております」と挨拶しました。

*注:東松島市で防災集団移転促進事業の造成工事が出た伐採木を原料に、仮設住宅の住民を中心とする市民のみなさんが、全国からのご支援に感謝し、心を込めてさまざまな木工品を制作するというプロジェクト。

(参考リンク) <http://www.okumatsusima.jp/kizuna/index.html>

お問い合わせ窓口:

コーポレート・コミュニケーション部 マーケティング・コミュニケーション G

社会貢献事務局:

佐伯 妙子

Tel: 03 5485-3393

e-mail: taeko.saeki@jp.bosch.com

報道対応担当:

コーポレート・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーション G
セクション・マネージャー

舟田 直美

Tel: 03 5485-3393

e-mail: naomi.funada @jp.bosch.com

日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、ボッシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FAモジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ボッシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスペクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。

2013年の日本のボッシュ・グループの売上は約3,200億円で、従業員数は約7,100人です。

さらに詳しい情報は 日本のボッシュ・グループウェブサイト www.bosch.co.jp FaceBook www.facebook.com/bosch.co.jp ツイッター <https://twitter.com/BoschJapan> を参照してください。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2013年の従業員数は約281,000人、売上高は461億ユーロを計上しています(注: 会計方針の変更のため、今回公表する2013年のデータと昨年発表した2012年データは、限定的な範囲での比較)。事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュGmbHとその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売のグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。

ボッシュは2013年に約45億ユーロもの金額を研究開発に投資しました。さらに全世界では5,000件以上の国際特許の基礎特許(第一国出願)を出願しています(1日あたり平均20件の出願数)。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

さらに詳しい情報はボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英文)www.bosch.com、ボッシュ・メディア・サービス(英文)www.bosch-press.com、ツイッター <http://twitter.com/BoschPresse> を参照してください。